

■対象となるシステム

フットビュー

フットビュークリニック

フットビューSAM

F-スキャン

T-スキャン

Clinseat

マットスキャン

(以下ではフットビューSAMを例とします)

■インストール手順

1. インストール

フットビューSAMをインストールすると、デフォルトでは

C:\¥Nitta¥FootviewSAMxxx

に実行ファイル等がインストールされます。

データベースやムービーデータはそのサブフォルダ内にインストールされます。

2. データベースの登録

参照するデータベースは、インストール時に Windows 管理下の

ODBC データソースアドミニストレータ

に自動で登録されます。

デフォルトでの登録パスは以下のようになります。

C:\¥Nitta¥FootviewSAMxxx¥database¥footview.mdb

<確認方法>

①[スタート]-[コントロールパネル]-[管理ツール]-[ODBC データソース(32 ビット)]で

「ODBC データソースアドミニストレータ (32 ビット)」ダイアログを開く

②[システム DSN]タブのシステムデータソースでデータベース名を選択した状態で[構成...]ボタンをクリックし「ODBC Microsoft Access セットアップ」ダイアログを開く

③参照するデータベースのパスが表示されるのでそれを確認

④パスが長い場合、すべてが表示されない場合がある

この場合、[選択...]ボタンをクリックすると参照するデータベースを手動で選択できるようになり、すべてのパスが確認できる

■バージョンアップ手順

3. データベースフォルダのバックアップ

バージョンアップ等を行う場合、はじめに、データベースフォルダをバックアップしてく

ださい。

C:\¥Nitta¥FootviewSAMxxx¥database

を、CD や USB メモリ、デスクトップ等にコピーしておきます。

4. 旧バージョンをアンインストール

「プログラムの追加と削除」により、フットビューSAM をアンインストールしてください。

5. 新しいバージョンのインストール

新しいバージョンのフットビューSAM をインストールすると、1. と同様に、

C:\¥Nitta¥FootviewSAMxxx

にインストールされます。

6. 参照データベースの変更

(バージョンは適用するものに読み替えてください)

ver6.60 では、

C:\¥Nitta¥FootviewSAM660¥database¥footview.mdb

と登録されていましたが、ver6.61 をインストールすると、これも自動で

C:\¥Nitta¥Footview661¥database¥footview.mdb

に変更されます。

7. データベースのリストア

バックアップしたデータベースフォルダを、新しくインストール・作成されたフォルダにコピーしてください。

C:\¥Nitta¥Footview661¥database

■PC の移行時

バージョンアップ手順の 3, 5, 7 を実施してください。

■注意事項

1. データベースファイルの互換

フットビュー、フットビュークリニック、フットビューSAM の各バージョンには互換性があります。

ただし、フットビューSAM はデータベース項目が追加されているため、データベースをコピーした場合には追加の手順が必要となります。項目 2.を参照してください。

2. データベースの認識の失敗

フットビューをバージョンアップした場合、はじめの起動時にデータベースが正常に認識されない場合があります。

この場合、

C:\¥Nitta¥FootviewSAMxxx¥database

フォルダ内（バージョンは適宜、読み替えてください）の「*****.tst」ファイルを削除した後、アプリケーションを再起動してください。

3. 旧バージョンをアンインストールしない場合

この場合、データベースが2つ存在することになります。

データベースは、常に「後にインストールした方」を参照するため、必要なデータベースは「後にインストールした方」のフォルダに入れてください。

旧バージョンを起動した場合でも、後にインストールした（新しいバージョンの）データベースを参照するので注意が必要です。